

「宇部市地球温暖化対策ネット」の会報発刊に寄せて

「里山ビオトープ二俣瀬をつくる会」会長 今井和男

宇部市地球温暖化対策ネットは発足し、10年を迎えられました。創設以来各参加団体・各会員及び各役員諸兄の積極的な取り組みで、「ネット」は市民の理解を深めつつあります。この間の各役員の御努力にたいして、敬意を表します。

この度「ネット」創設10周年を記念し「会報」の発刊をお聞きしまして、大変喜ばしい事と思います。

「ネット」創設時は市行政当局の指導中心の活動ではなかったかの感が致しましたが、社会情勢の変化は速く市民中心型に変わって参りました。

その情勢の中で市民参加が身軽に参加可能の体制づくりに努めてこられた最近の自立運営で実施取り組みこまれたなかで、

①宇部まつりへの参加 ②小中学校への環境教育 ③交通による地球温暖化防止県民運動の参画、また本年3月4日に行われた④亀浦公園の「二酸化炭素吸収森づくり」の植樹祭の参画は市民家族連れを中心にしての苗木を植えられた行事は、環境意識の高揚に努められて市民全体の理解を更に深めたものと思います。

この度の「会報」発刊を迎えて、会員の連携を更に密にし、市民参加を呼び掛けと「ネット」の精神をPRしてほしいものと思います。

終わりに「ネット」の今後益々のご活躍と会員の御健勝を祈念いたします。



筆者近影



筆者は後列左から二人目